

日 時 令和元年7月6日(土) 19:00~20:40

場 所 志津南まちづくりセンター 多目的室

出席者 (会長) 花澤 (副会長) 潤井、湯浅、上田

(町内会長) 神山、渡邊、山本、多村、余田、三好、中村(代理)、藤村

藤原、戸田、山元(代理)

(グループ代表) 金、高岡(代理)、塩崎

計20名

(事務局) 妹尾、渕側

敬称略

1. 報告・連絡事項

(1) 会長から

① 第6次草津市総合計画の策定について、地域別懇談会の開催

現行計画(第5次草津市総合計画)が令和2年度で終了し、令和3年度から令和14年度までの12年間を計画期間とした第6次草津市総合計画の策定に、草津市は約2年間かけて取り組む。策定に際して、今後のまちづくりについて地域と話し合う地域別懇談会が開催される。出席者は、まち協にて事前に選定をした(まち協正副会長、理事、各種団体から)。

② 志津南学区防災フェスティバル開催

10月20日(日)13:00から若草中央児童公園にて開催。まち協が主催、各町内会・自治会の自主防災会が主となって実施。関連する専門委員会、消防署・消防団にも協力を要請する。内容は、煙中体験や消火器体験、起震車による地震体験、避難時を想定した炊き出し訓練などを予定。子ども達も楽しめる内容にしたい。

③ 市長とまちづくりトークの開催

12月23日(月)19:00から志津南まちづくりセンター大会議室にて開催。テーマは「防災について(案)」。各町内会・自治会の区域内の危険箇所等を取りまとめて、まちづくりトーク内で議論したい。まちづくりトークの出席者はまち協理事にお願いしたい。行政側からは、市長やテーマに関連する部課の職員が出席予定。

④ 草津市男女共同参画推進条例10周年事業のワークショップ開催

7月20日(土)13時30分から市民交流プラザ中会議室にて、「草津市男女共同参画推進条例10周年事業 『これまでの10年これからの10年』」と題したワークショップが開催される。先着30名まで。

⑤ 南草津駅東口の混雑・交通事故防止の立て看板設置(増設)

南草津駅東口の混雑・交通事故防止のため、一般車両は西口利用の協力を求める看板を、かがやき通り沿いに、草津市が更に3か所増設予定(近江草津徳洲会病院前付近、ファミリーマート草津かがやき通り店付近、若草交差点付近。他にも数箇所、県・市が増設予定)。

(2) 各町内会・各グループ・事務局から

- ・6月8日(土)、学区環境美化委員会全体事業として「かがやき通り通学路整備」を実施。志津南小PTA、学区環境美化委員、町内会・自治会、志津南環境美化ボランティアの会の各団体から総勢44名で作業にあたった。しかし、当日だけでは完遂できず、作業未達箇所については、7月2日(火)に志津南環境美化ボランティアの会に作業いただいた。

- ・学区環境美化委員会としては、これからの台風シーズンにあたり、暴風雨通過後の対応について、町内会・自治会の安心安全に関わる重大なこととして、協働して推進していきたい。
- ・7月27日(土)、志津南ふれあい夏まつりが若草中央児童公園で開催。雨天時でも、荒天以外は開催する。当日の対応状況については、まち協ホームページでも随時発信する。
- ・町内会・自治会のごみステーションに地域外からの不法投棄がある。
→同様の事例に対して、市に相談すると対策備品の貸し出しなどの対応があった。
- ・市補助金事業の防犯カメラ設置の候補地選定については3箇所を設置要望があったが、担当の交通防犯委員会では一つに絞り切れず、理事会の意見を求めたい。
→防犯カメラの設置趣旨としては、児童の登下校の安全確保がメインであり、理事会で最終的には候補地は2箇所となった。候補地付近で他の防犯カメラが設置されていないか、映り込む住宅や店舗などから許可がもらえるかなどを確認し、年内に候補地決定を目指す。
- ・9月16日(月・祝)11時から13時まで、志津南小学校体育館で学区全体の敬老会を開催。
- ・6月21日(金)の大雨で、かがやき通りが川のようになっていた。
- ・7月21日(日)に第25回参議院議員通常選挙、9月8日(日)に草津市議会議員一般選挙が執行される。

2. 審議事項

(1)平成30年度収支決算書について

平成31年度定時総会にて、仮決算で承認された第2号議案「平成30年度決算報告および監査報告」について、最終確定した平成30年度収支決算書を理事会に提出、説明して承認を求めた。変更箇所は、一般会計の職員雇用経費の余剰分を市へ返還する金額の修正であり、差額920円は一般会計繰越金に計上したものである。

→異議なく承認された。

(2)各事業の見直しについて

学区内では宅地開発が進み、人口増となる一方で、主催者側は高齢化が進み、役員の負担軽減が課題となっている。特にふれあい夏まつりは年々参加者が増え(約3,000人)、会場周辺は危険な状態となっているのが現状である。リスクを解消するため、今後の在り方について経験者数人による検討委員会を立ち上げたい。委員の選任については、まち協事務局がまち協理事や各種団体などから選任する。

→異議なく承認された。

以上